

胃X線検診における診療放射線技師による読影補助の有用性

■ 研究目的・方法

日本消化器がん検診学会では昨今の読影医不足の問題を踏まえ、診療放射線技師（以下、技師）による読影補助認定制度を2020年度から発足させました。この補助読影とは、学会認定医の包括的指示に基づき、認定を受けた専門技師が適切な追加撮影と学会が策定した読影判定区分に準拠した読影判定を技師レポートとして提出することにより読影医の診断を補助することです。

本研究では、過去の胃X線検診症例を学会が策定した読影判定区分に基づき再読影し、医師と技師の評価結果を比較することで、技師による読影補助の有用性について検討することを目的としています。

■ 研究の対象

2011年4月～2017年3月に当院予防医療センターにて胃がんX線検診を受診した方の中で、要精密検査となった方

■ 研究に用いる試料・情報の種類

X検診時の画像、精密検査内視鏡結果および返信された精密検査結果を基にした情報

■ お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

連絡先	済生会熊本病院 予防医療センター センター長 満崎 克彦（研究責任者） 住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)
-----	--

以上